

## 稲作栽培 I

講師名	仲條 眞介	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、稲の基本的な生理・生態、岩手県における標準的な水稲栽培技術を体系的に学ぶための講義を担当している。
-----	-------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専門科目	農産園芸・農産	必修	1	通年	120	8
使用教科書・副教材	『農学基礎セミナー 新版 作物栽培の基礎(農山漁村文化協会)』、『いわての農作物雑草図鑑(改訂版)』(岩手県植物防疫協会)、病害虫・雑草フィールドブック【水稲編】(全国農業会議所)、『2021年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針』(岩手県)					
授業の目的	稲の基本的な生理・生態を学んだ上で、岩手県における標準的な水稲栽培技術を体系的に学ぶ。また、得た知識をもとに卒業研究計画策定を行う。					
授業の到達目標	水稲のほ場準備～育苗～移植～防除～収穫までの作業体系を理解し、自ら作業計画を立案し卒業研究計画を作成できるようになる。					

月	学習項目	学 習 事 項	時 間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月	米の種類と基本形態 育苗期の管理	米の種類と基本形態、育苗の基本(種子予措、は種、育苗期の管理、育苗期の病害虫)を学習する。	4	講義	
5月	移植前後管理	耕起・代かき、土壌改良、基肥施肥、移植・直播栽培法(湛水直播)の概要を学習する。	4	講義	
6月	生育初期管理	移植後、生育初期の本田管理方法を学習する。	6	講義	
	米などに関する事例研究	米などに関する知見を深める(6/10-11)	16	事例研究	レポート
7月	追肥等の管理	中干し等の水管理、栄養診断と追肥判定、病害虫の診断と防除方法、畦畔管理法を学習する。	4	講義	
8月	出穂前後の管理	出穂前後の水管理、病害虫(穂いもち病、斑点米カメムシ類)の予察と防除法を学習する。	6	講義	
9月	収穫期の管理	収穫前の水管理、成熟期調査、収穫適期判断法、坪刈調査手法を学習する。	6	講義	
10月	収穫期の管理	収穫適期判断法、坪刈調査手法を学習する。	2	講義	
11月	米の食味品質	収量調査手法、収量構成要素、米の品質・食味調査手法について学習する。プロジェクト研究結果まとめ方について学習する。	6	講義	
	米などに関する事例研究	米などに関する知見を深める(11/11-13)	24	事例研究	レポート
12月	卒業研究計画	卒業研究計画立案手法を習得する。(テーマ設定手法(背景や課題把握)を学習する)	18	講義	
1月	卒業研究計画	卒業研究計画立案手法を習得する。(既知見調べ手法と研究の方向性を学習する)	10	講義	
2月	卒業研究計画	卒業研究計画書の作成手法を習得する。(具体的な試験区構成、調査項目の考え方、計画書作成手法、発表手法を学習する)	14	講義	卒研計画書
合計			120	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

テストの得点、受講態度、提出物の内容、出席状況により評価する。  
評価割合:筆記試験・レポート70%、平常点30%(学習態度、出席状況、提出物)

履修に当たっての留意点等

受講に際しては、事前に教科書・参考書等に目を通しておくことが望ましい。授業は教科書と補足プリントに沿って専攻実習 I と並行して行うが、項目が入れ替わることもあるので注意すること。ほ場での授業の際は事前に連絡するので確認のこと。事例研究以外でも小レポートを課し、評価に含める。